

人を対象とする医学系研究に関する情報の公開

倫理委員会番号	2024-039
研究課題名	Perfusion MRIは大腿骨頭すべり症における骨頭壊死の発生を予測できるか
所属科	整形外科
研究責任者	柿崎 潤
研究期間	承認後～2025年12月31日
研究概要	<p>○目的</p> <p>骨シンチグラフィと Perfusion MRI を用いて術前の骨頭血流を評価し、骨頭壊死の発生を予測できるか検討する。</p> <p>○対象</p> <p>2018年1月～2021年4月に当院で治療を行った大腿骨頭すべり症例19例20股</p> <p>○方法</p> <p>当院の電子カルテに記載された情報、および DICOM データを基に、下記内容を集計し、大腿骨頭壊死との関連を調査、骨頭壊死の予測精度を比較する。</p> <p>○利用する項目</p> <p>発症時年齢</p> <p>Loder 分類（受診時に歩行が可能であれば stable、歩行不能であれば unstable とする。）</p> <p>受傷状況による分類（3週間以内の急性発症例を acute、3週以上経過し、急激に増悪した例を acute on chronic、発症から3週間以上経過しており、急激な増悪のない例を Chronic とする。）</p> <p>重症度（ラウエンシュタイン像で骨頭すべり角を計測し、30° 未満を mild、30° から 60° 未満を moderate、60° 以上を severe とする。）</p> <p>骨シンチグラフィの結果（骨頭に集積がある例を HOT、無い例を COLD とする）</p> <p>Perfusion MRI（骨頭の造影効果が対側と比べて同程度ある例を Type A、造影効果の低下がある例を Type B、造影効果のない例を Type C とする）</p>

<p>倫理的配慮・個人情報の保護の方法について</p>	<p>本研究のすべての担当者は、「ヘルシンキ宣言」及び「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守して実施します。</p> <p>研究の結果を公表する際は、対象者を特定できる情報を含まないようにします。また、研究の目的以外に、研究で得られた情報を使用しません。上記の研究に情報を利用することをご了承いただけない場合は、研究の問い合わせ先までご連絡ください。この調査へのご自分の診療録の使用をお断りになっても、不利益を受けることは全くありません。いつでもお断りいただけますので、担当医あるいは下記にお申し出ください。</p>
<p>研究の問い合わせ先</p>	<p>千葉県こども病院 整形外科 佐久間昭利 〒266-0007 千葉市緑区辺田町 579-1 TEL: 043-292-2111</p>
<p>結果の公表について</p>	<p>個人情報を消去した上で、集計されたデータのみを国内外の学術集会・学術雑誌などで公表します。</p>
<p>利益相反について</p>	<p>本研究の計画、実施、発表に関して可能性のある利益相反はありません。</p>